

〈平成27年（2015年）基準〉

I 調査結果の概要

1 概況

平成29年の農産物価格指数（平成27年を100とする。以下同じ。）の総合価格指数（以下「総合」という。）は108.5で、前年に比べ1.0%上昇した。

また、農業生産資材価格指数（平成27年を100とする。以下同じ。）の総合は、98.8で、前年に比べ0.3%上昇した。

この結果、農業交易条件指数（農産物価格指数（総合）÷農業生産資材価格指数（総合）×100）は109.8となり、前年に比べ0.7%上昇した。農業交易条件指数は3年連続で上昇した。

図1 農産物価格指数の推移(平成27年=100)

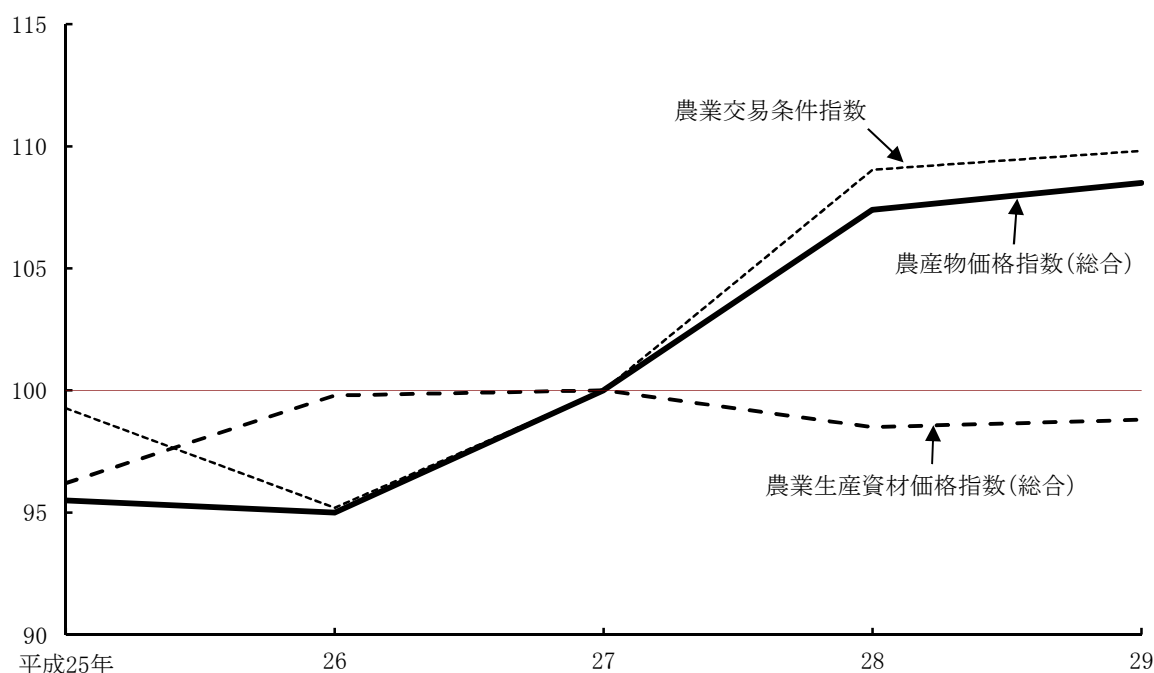


表1 農業交易条件指数の推移

平成27年=100						
区 分	平成25年	26	27	28	29	対前年 騰落率 (29/28)
農産物価格指数（総合）①	95.5	95.0	100.0	107.4	108.5	1.0
農業生産資材価格指数（総合）②	96.2	99.8	100.0	98.5	98.8	0.3
農業交易条件指数①÷②×100	99.3	95.2	100.0	109.0	109.8	0.7

図2 農産物価指数(月別)の推移(平成27年=100)

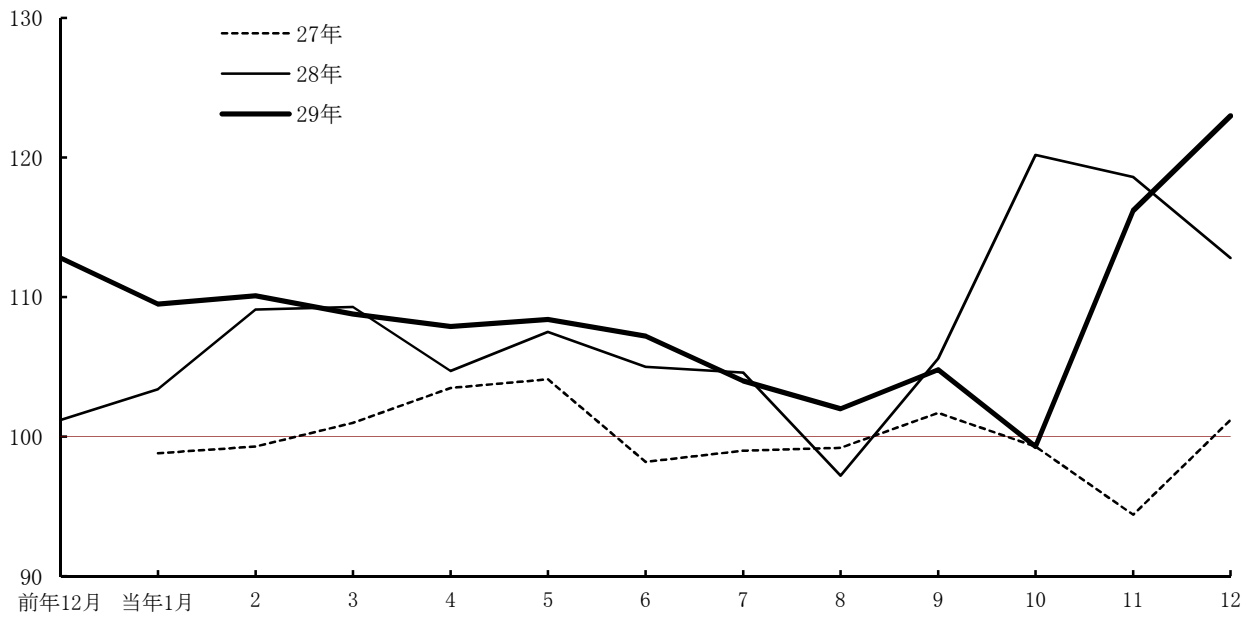
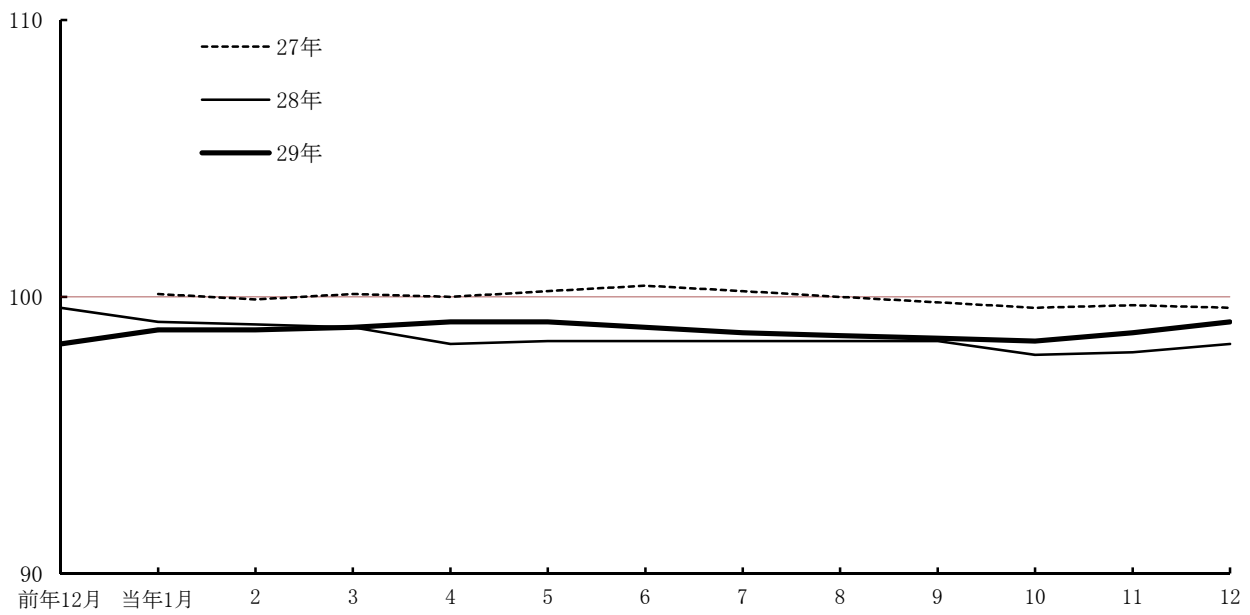


図3 農業生産資材指数(月別)の推移(平成27年=100)



2 農産物価格指数

農産物価格指数（総合）は108.5となり、前年に比べ1.0%上昇した。

これは、野菜等の価格が低下したものの、米、畜産物等の価格が上昇したことによる。

主な類別の指数の動向についてみると、次のとおりである。

(1) 米は122.5で、前年に比べ9.0%上昇した。

これは、平成27年産以降、需要に応じた生産の推進により、超過作付が解消され、需給が改善して、主食用米の価格が上昇したことによる。

(2) 野菜は100.7で、前年に比べ6.6%低下した。

これは、11月以降にほうれんそう等で価格の高騰がみられたものの、10月まではおおむね生育が順調に推移したことから、8月の台風や9月の長雨等により、にんじんやレタス等の価格が高騰した前年に比べ、価格が低下したことによる。

(3) 果実は110.6で、前年に比べ0.4%上昇した。

これは、りんごの価格が高値だった前年産に比べ低下した一方、みかん、ぶどう、うめ等の出荷量が減少し価格が上昇したことによる。

(4) 畜産物は106.2で、前年に比べ1.9%上昇した。

これは、近年、高値で推移している牛肉の代替需要を背景に、肉豚の価格が堅調に推移したこと等による。

表2 農産物の年次別価格指数及び対前年騰落率

平成27年=100

区 分	年次別価格指数					対前年騰落率					寄与度
	平成25年	26	27	28	29	平成25年	26	27	28	29	
農 産 物（総合）	95.5	95.0	100.0	107.4	108.5	1.0	△ 0.5	5.3	7.4	1.0	1.02
うち米	127.3	111.5	100.0	112.4	122.5	1.5	△12.4	△10.3	12.4	9.0	2.14
麦	95.9	96.8	100.0	97.2	114.4	△10.6	0.9	3.3	△ 2.8	17.7	0.13
い も	74.4	79.1	100.0	108.8	94.2	△ 1.8	6.3	26.4	8.8	△13.4	△0.29
野 菜	89.4	88.6	100.0	107.8	100.7	△ 0.3	△ 0.9	12.9	7.8	△ 6.6	△1.71
果 実	89.8	88.5	100.0	110.2	110.6	△ 7.9	△ 1.4	13.0	10.2	0.4	0.04
工芸農作物	108.0	109.0	100.0	98.5	110.2	4.3	0.9	△ 8.3	△ 1.5	11.9	0.25
花 き	93.0	92.4	100.0	103.7	101.5	△ 1.1	△ 0.6	8.2	3.7	△ 2.1	△0.10
畜 産 物	84.9	93.4	100.0	104.2	106.2	6.7	10.0	7.1	4.2	1.9	0.54
うち鶏 卵	86.0	95.9	100.0	92.8	94.0	11.5	11.5	4.3	△ 7.2	1.3	0.02
生 乳	91.1	96.0	100.0	101.5	103.0	0.7	5.4	4.2	1.5	1.5	0.17
肉 畜	83.5	94.8	100.0	99.2	101.9	9.4	13.5	5.5	△ 0.8	2.7	0.25
子 畜	74.9	84.5	100.0	123.1	125.2	17.0	12.8	18.3	23.1	1.7	0.09
成 畜	72.1	85.6	100.0	123.3	123.9	21.2	18.7	16.8	23.3	0.5	0.00

注：寄与度は、平成29年の農産物価格指数（総合）の対前年騰落率に対するものである。

3 農業生産資材価格指数

農業生産資材価格指数（総合）は98.8となり、前年に比べ0.3%上昇した。

これは、肥料等の価格が低下したものの、光熱動力等の価格が上昇したことによる。主な類別の指数の動向についてみると、次のとおりである。

- (1) 畜産用動物は121.2で、前年に比べ2.7%上昇した。

これは、近年高騰していた肉用子牛については落ち着きをみせてきたものの、酪農家の大規模化が進展し需要が高まっていること等により、乳用牛価格が上昇したことによる。

- (2) 肥料は92.7で、前年に比べ5.6%低下した。

これは、肥料原料の値下げや為替が円高で推移したことにより、高度化成を中心に複合肥料の価格が低下したことによる。

- (3) 飼料は92.4で、前年に比べ0.8%低下した。

これは、低水準で推移した前年産の配合飼料の価格が通年で継続したこと、為替が円高で推移したことにより、配合飼料が低価格で推移したことによる。

- (4) 光熱動力は95.7で、前年に比べ10.6%上昇した。

これは、為替は円高で推移したものの、世界的な景気拡大に伴い需要が高まっていること等により、原油相場が上昇したことによる。

表3 農業生産資材の年次別価格指数及び対前年騰落率

平成27年=100

区 分	年次別価格指数					対前年騰落率					寄与度
	平成25年	26	27	28	29	平成25年	26	27	28	29	
農業生産資材（総合）	96.2	99.8	100.0	98.5	98.8	3.4	3.7	0.2	△ 1.5	0.3	0.30
うち種苗及び苗木	92.6	97.4	100.0	100.6	101.1	0.9	5.2	2.7	0.6	0.5	0.03
畜産用動物	77.8	87.5	100.0	118.0	121.2	12.3	12.5	14.3	18.0	2.7	0.19
肥 料	94.2	98.2	100.0	98.2	92.7	1.8	4.2	1.8	△ 1.8	△ 5.6	△ 0.58
飼 料	96.2	98.6	100.0	93.1	92.4	10.4	2.5	1.4	△ 6.9	△ 0.8	△ 0.14
農業薬剤	96.5	98.9	100.0	100.0	99.4	△ 0.4	2.5	1.1	0.0	△ 0.6	△ 0.05
光熱動力	111.7	117.8	100.0	86.5	95.7	6.2	5.5	△ 15.1	△ 13.5	10.6	0.85
農 機 具	97.3	99.5	100.0	100.2	100.2	0.2	2.3	0.5	0.2	0.0	0.00
建築資材	92.6	98.8	100.0	100.7	101.3	1.3	6.7	1.2	0.7	0.6	0.02
賃借料及び料金	96.3	98.7	100.0	100.7	100.3	0.5	2.5	1.3	0.7	△ 0.4	△ 0.04

注：寄与度は、平成29年の農業生産資材価格指数（総合）の対前年騰落率に対するものである。